別表3　　（A4）

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）

分別解体等の計画等

変更箇所			
	工作物の構造（解体工事のみ）		□鉄筋コンクリート造　□その他（　　）
□	工事の種類		□新築工事　□維持・修繕工事　□解体工事 □電気　□水道　□ガス　□下水道　□鉄道　□電話　□その他（　　）
□	使用する特定建設資材の種類（新築・維持・修繕工事のみ）		□コンクリート　□コンクリート及び鉄から成る建設資材 □アスファルト・コンクリート　□木材
□	工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数＿＿＿年 その他（　　）
□		周辺状況	周辺にある施設　□住宅　□商業施設　□学校　□病院　□その他（　　） 敷地境界との最短距離　約＿＿＿m その他（　　）

変更箇所			工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
□	工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	作業場所	作業場所　□十分　□不十分 その他（　　）	
□		搬出経路	障害物　□有（　　）　□無 前面道路の幅員　約＿＿＿m 通学路　□有　□無 その他（　　）	
□		特定建設資材への付着物（解体・維持修繕工事のみ）	□有（□飛散性石綿（吹付け石綿、石綿含有断熱材、保温材等） □非飛散性石綿 □石綿含有仕上塗材 使用面積　㎡ □石綿含有成型板等 使用面積　㎡ □その他（　　）） □無	大気汚染防止法・安全衛生法石綿則、大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく届出について □届出済　□届出予定　□届出対象外
□		その他 特定建設資材に付着していない、解体時に発生する有害物質（解体・維持修繕工事のみ）	□有（□飛散性石綿（吹付け石綿、石綿含有断熱材、保温材等） □非飛散性石綿 □石綿含有仕上塗材 使用面積　㎡ □石綿含有成型板等 使用面積　㎡ □その他（　　）） □無	大気汚染防止法・安全衛生法石綿則、大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく届出について □届出済　□届出予定　□届出対象外

変更箇所	工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法（解体工事のみ）
□		①仮設	仮設工事　□有　□無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
□		②土工	土工事　□有　□無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
□		③基礎	基礎工事　□有　□無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
□		④本体構造	本体構造の工事　□有　□無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
□		⑤本体付属品	本体付属品の工事　□有　□無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
□		⑥その他（　　）	その他の工事　□有　□無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
□	工事の工程の順序（解体工事のみ）		□上の工程における⑤→④→③の順序 □その他（　　） その他の場合の理由（　　）	
□	工作物に用いられた建設資材の量の見込み（解体工事のみ）		トン	

変更箇所	廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み（全工事）並びに特定建設資材が使用される工作物の部分（新築・維持・修繕工事のみ）及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分（維持・修繕・解体工事のみ）	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分（注）
□			□コンクリート塊	トン	□①　□②　□③　□④ □⑤　□⑥
□			□アスファルト・コンクリート塊	トン	□①　□②　□③　□④ □⑤　□⑥
□			□建設発生木材	トン	□①　□②　□③　□④ □⑤　□⑥
		（注）①仮設　②土工　③基礎　④本体構造　⑤本体付属品　⑥その他			
□	備考				

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。